

令和2年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：交通施策の推進について

福岡県企画・地域振興部交通政策課

1 調査の目的

近年、バス運転手の高齢化や慢性的な不足により、バス路線の減便や廃止が相次いでいる。また、高齢ドライバーによる重大事故の増加を背景に、運転免許証の返納又は取消しを受ける方も急増している。さらに、新型コロナウイルス感染症の流行により、公共交通機関の利用状況にも変化が生じている。

このため、交通機関の利用状況や交通施策に対する県民の皆様の意見を聴き、次期福岡県交通ビジョン策定の参考とする。

2 調査時期

令和2年10月2日～10月23日（第4回）

3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	365 (100%)	82 (22.5%)	195 (53.4%)	52 (14.2%)	36 (9.9%)
性別	女性	204 (55.9%)	43	112	29	20
	男性	161 (44.1%)	39	83	23	16
年代別	20代以下	42 (11.5%)	4	28	7	3
	30代	77 (21.1%)	19	40	8	10
	40代	85 (23.3%)	15	51	12	7
	50代	74 (20.3%)	18	37	14	5
	60代	52 (14.2%)	14	24	6	8
	70代以上	35 (9.6%)	12	15	5	3

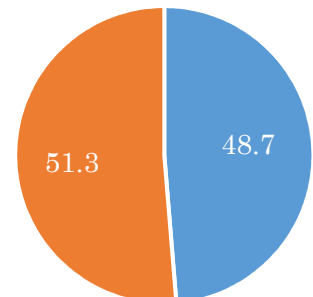
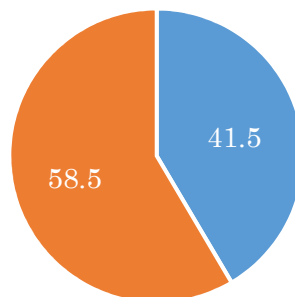
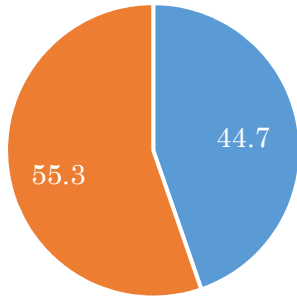
4 回答結果

問1 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、通勤・通学、日常生活において交通機関（移動手段）の利用状況に変化はありましたか。

①全体 (n=365)

②北九州地域 (n=82)

③福岡地域 (n=195)



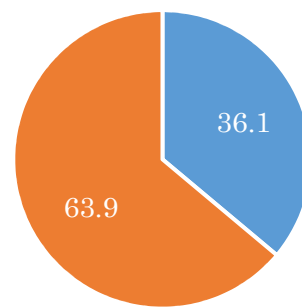
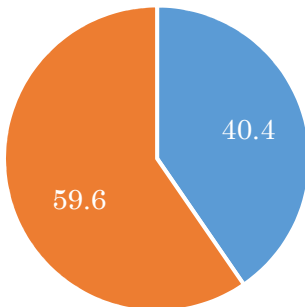
■ 変化した ■ 変化していない

■ 変化した ■ 変化していない

■ 変化した ■ 変化していない

④筑後地域 (n=52)

⑤筑豊地域 (n=36)



■ 変化した ■ 変化していない

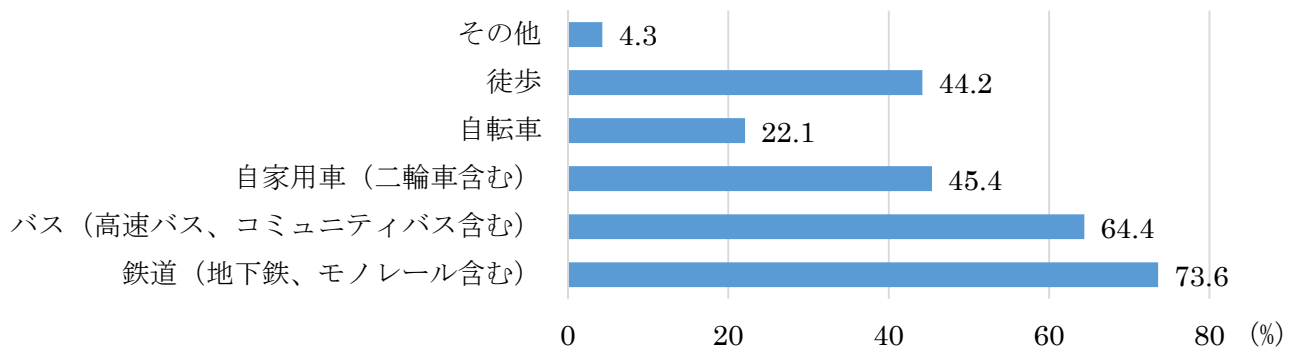
■ 変化した ■ 変化していない

○全体では、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、約4割の方が「交通機関（移動手段）の利用状況が変化した」と回答。
○地域別では、福岡地域で約5割の方が「変化した」と回答しており、他地域よりも高い傾向にある。

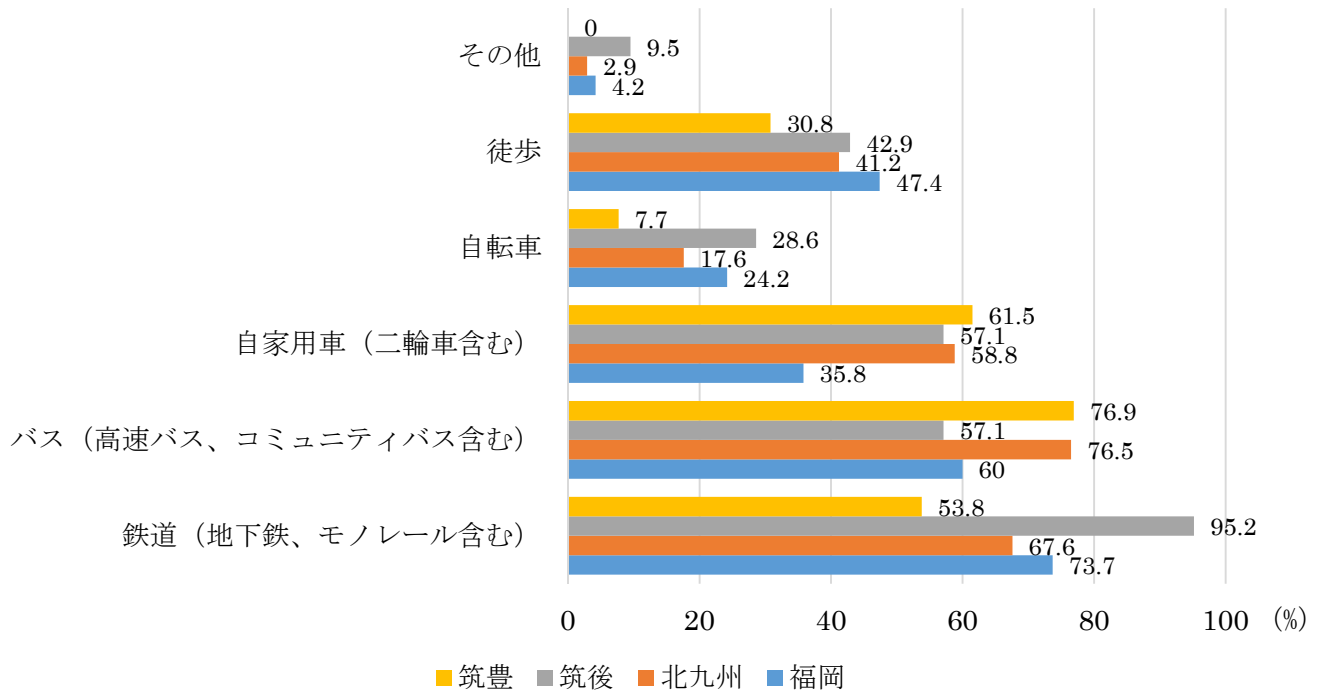
問2 新型コロナウイルス感染症流行の前後で、利用する交通機関（移動手段）がどのように変化しましたか。【流行前に利用していた交通機関（移動手段）】（問1で「変化した」と回答した方）。

※全て選択

①全体 (n=163)



②地域別 (n=北九州地域 34、福岡地域 95、筑後地域 21、筑豊地域 13)

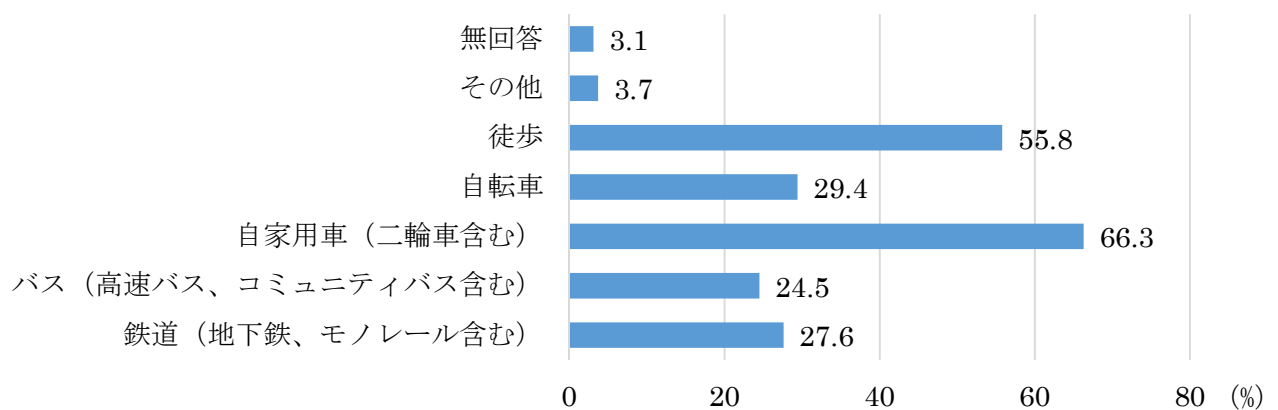


- 全体では、「鉄道 (地下鉄、モノレール含む)」約7割と一番多く利用されており、「バス (高速バス、コミュニティバス含む)」も約6割が利用している。
- 一方、「自家用車 (二輪車含む)」は、鉄道やバスよりも低いものの、約5割が利用しているほか、「自転車」は約2割にとどまっている。
- 地域別では、筑後地方の9割以上の方が「鉄道 (地下鉄、モノレール含む)」利用しており、他地域比べ高い傾向。
- また、「自家用車 (二輪車含む)」については、福岡地域を除く地域で約6割の方が利用しているが、福岡地域は約4割程度となっている。

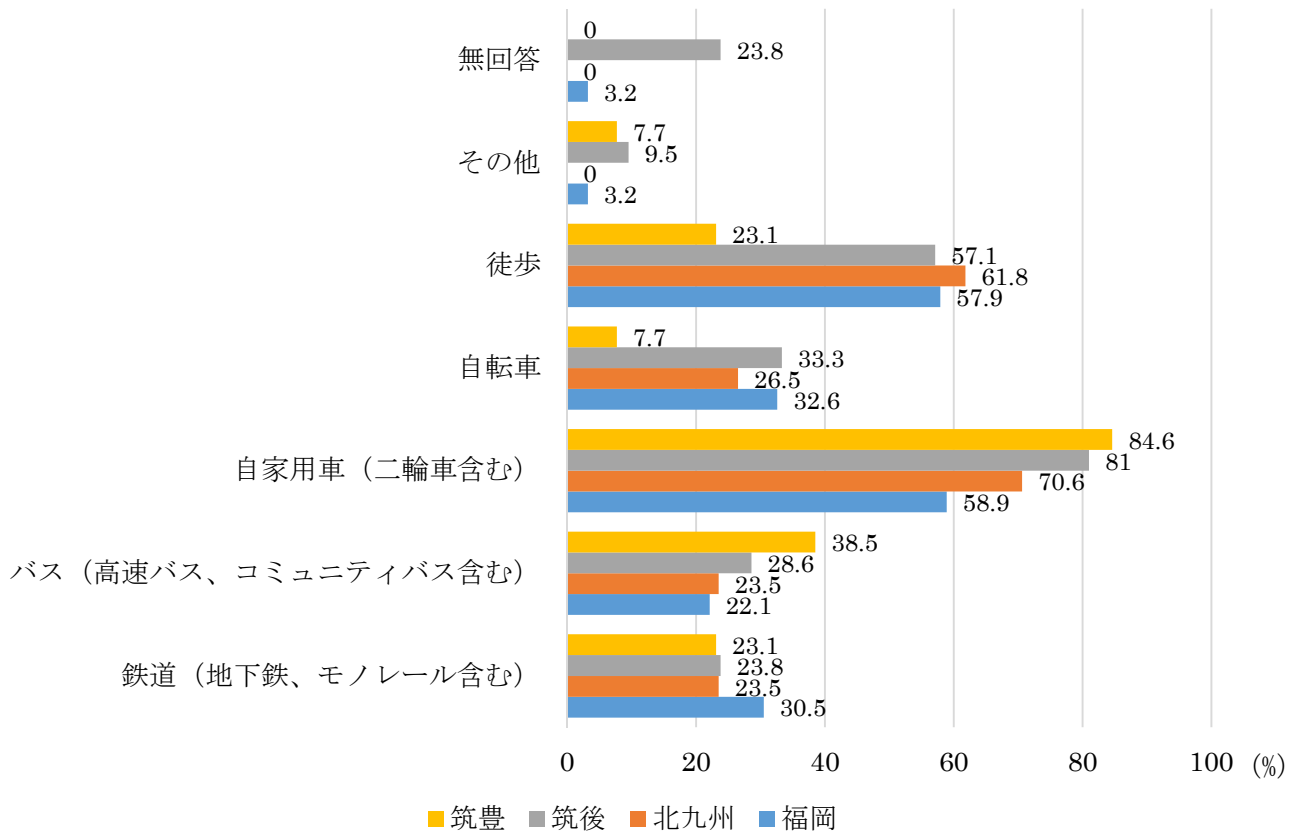
問3 新型コロナウイルス感染症流行の前後で、利用する交通機関 (移動手段) がどのように変化しましたか。【流行後に利用していた交通機関 (移動手段)】 (問1で「変化した」と回答した方)。

※全て選択

①全体 (n=163)



②地域別 (n=北九州地域 34、福岡地域 95、筑後地域 21、筑豊地域 13)



○全体では、「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」と「バス（高速バス、コミュニティバス含む）」の利用者が、流行前から大きく減少しており、鉄道は約3割（流行前から約5割減少）、バスは約2割（流行前からは約4割減少）にとどまっている。

○一方で、「自家用車」を利用している方が約7割と、流行前と比較し増加している（流行前から約2割増加）ほか、「自転車」及び「徒歩」もわずかに増加している（流行前から約1割増加）。

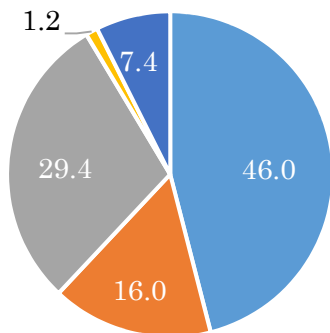
○地域別では、「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」と「バス（高速バス、コミュニティバス含む）」の利用者については、全ての地域で減少しているが、特に筑後地域の鉄道利用者が大きく減少している（流行前から約7割減少）。

○一方で、「自家用車（二輪車含む）」の利用者が、全地域で1割～2割程度増加している。

○一方で、自家用車及び自転車の利用者、徒歩は、ほぼすべての地域で増加している。

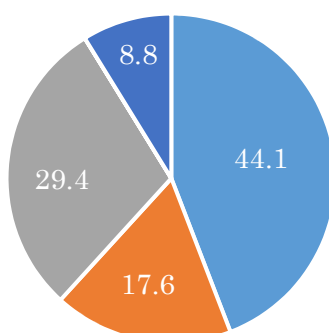
問4 新型コロナウイルス感染症の流行がおさまった場合、感染症流行前の利用交通機関（移動手段）に戻しますか。

①全体 (n=163)



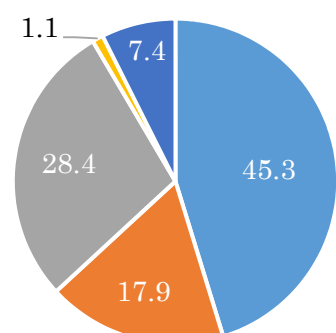
- 戻すと思う
- 戻さないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

②北九州地域 (n=34)



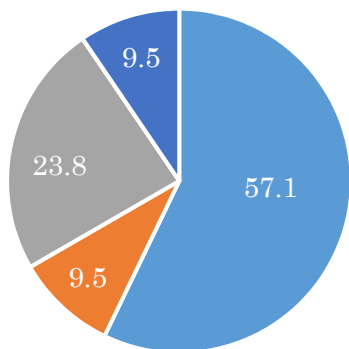
- 戻すと思う
- 戻さないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

③福岡地域 (n=95)



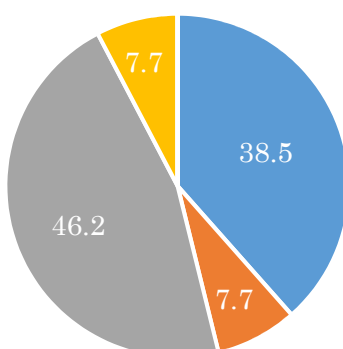
- 戻すと思う
- 戻さないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

④筑後地域 (n=21)



- 戻すと思う
- 戻さないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

⑤筑豊地域 (n=13)

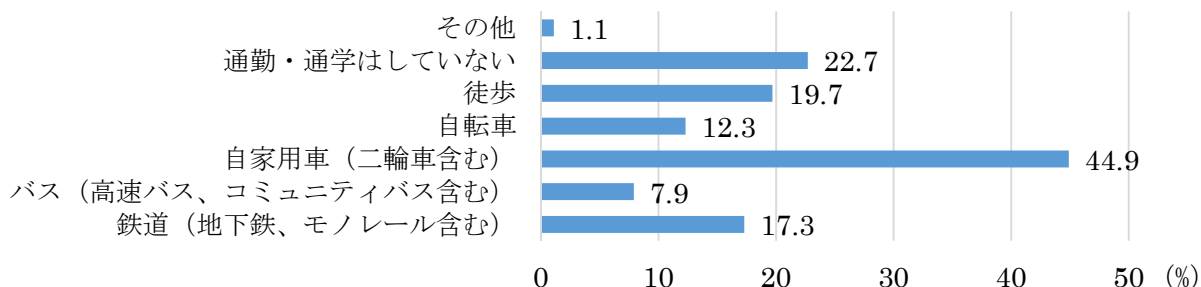


- 戻すと思う
- 戻さないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

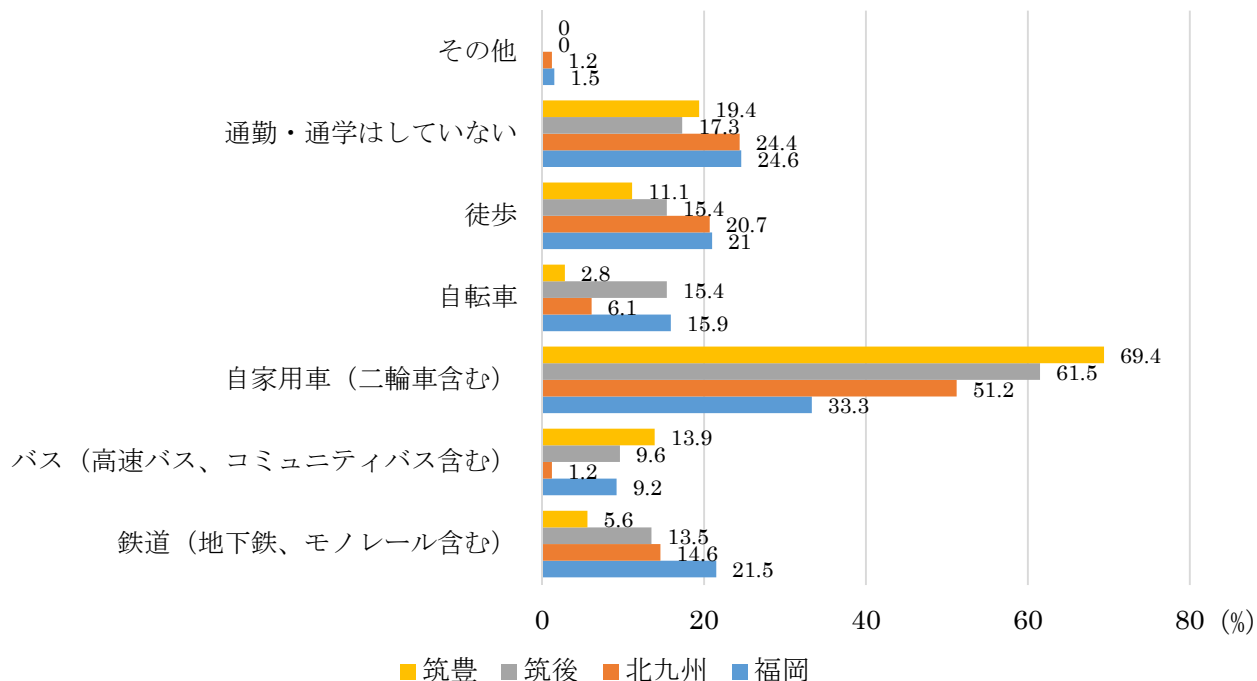
○全体では、「戻すと思う」と回答した方が約5割、「戻さないと思う」と回答した方が約2割となっているほか、「わからない」と回答した方も3割と一定存在している。
 ○地域別では、大きな偏りはないものの、筑後地域では「戻すと思う」と回答した方が約6割と、他地域に比べ1割から2割程度高い。
 ○また、筑豊地域では「わからない」と回答した方が約5割と、他地域に比べ2割から3割程度高い。

問5 現在、通期・通学する時に、どのような交通機関（移動手段）を利用していますか。※全て選択

①全体 (n=365)



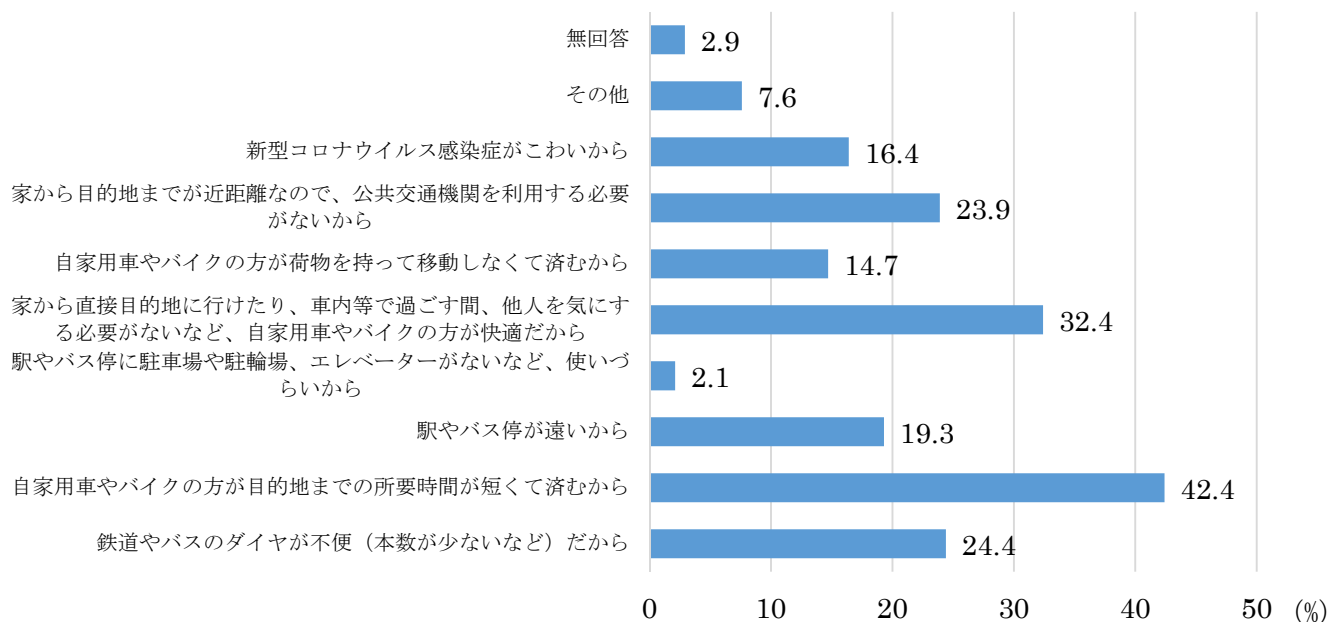
②地域別 (n=北九州地域 82、福岡地域 195、筑後地域 52、筑豊地域 36)



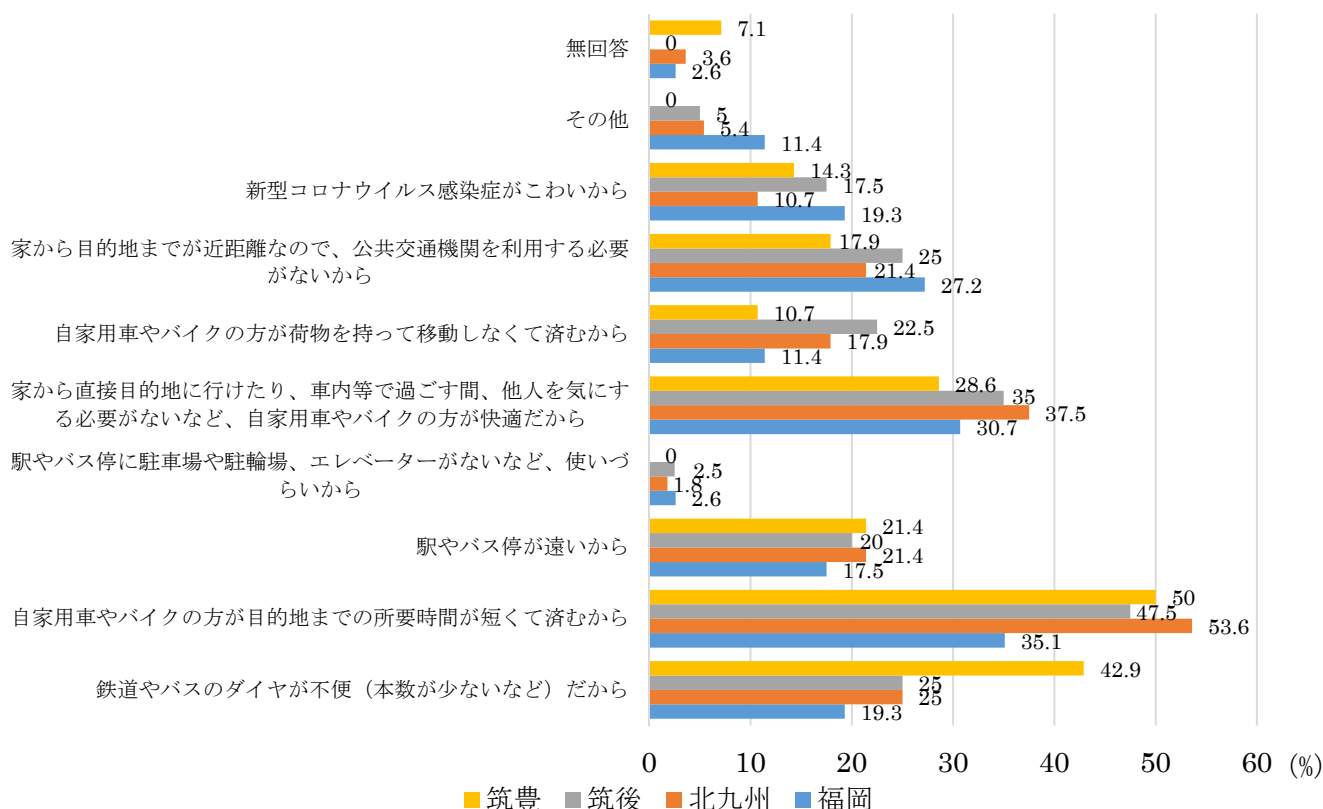
- 全体では、約4割の方が「自家用車（二輪車含む）」と回答し最も多く、次に、「徒歩」や「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」が続き、それぞれ約2割の方が回答。
- 地域別では、福岡地域に比べ、筑豊地域や筑後地域では「自家用車（二輪車含む）」が特に多く利用されている。
- 一方で、福岡地域は、他地域に比べ、「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」や「自転車」が多く利用されている。

問5-2 公共交通機関（鉄道やバス等）を利用しない理由はなんですか。（問5で「自家用車（二輪車含む）」「自転車」「徒歩」と回答した方）。※3つまで

①全体（n=238）



②地域別（n=北九州地域 56、福岡地域 114、筑後地域 40、筑豊地域 28）

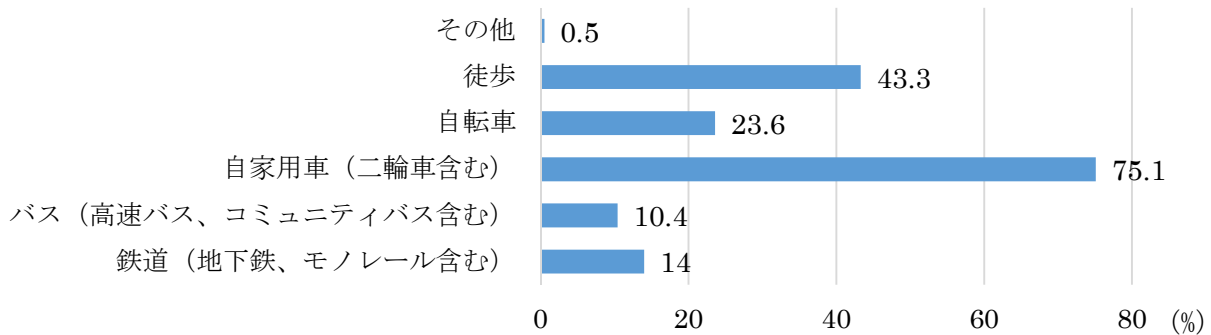


- 全体では、「自家用車やバイクの方が目的地までの所要時間が短くて済むから」と回答した方が約4割と最も多く、「家から直接目的地に行けたり、車内で過ごす間、他人を気にする必要がないなど、自家用車やバイクの方が快適だから」が続き約3割の方が回答。
- 地域別では、筑豊地域が「鉄道やバスのダイヤが不便（本数が少ないなど）だから」と回答した方が約4割と、他地域に比べ高い傾向。

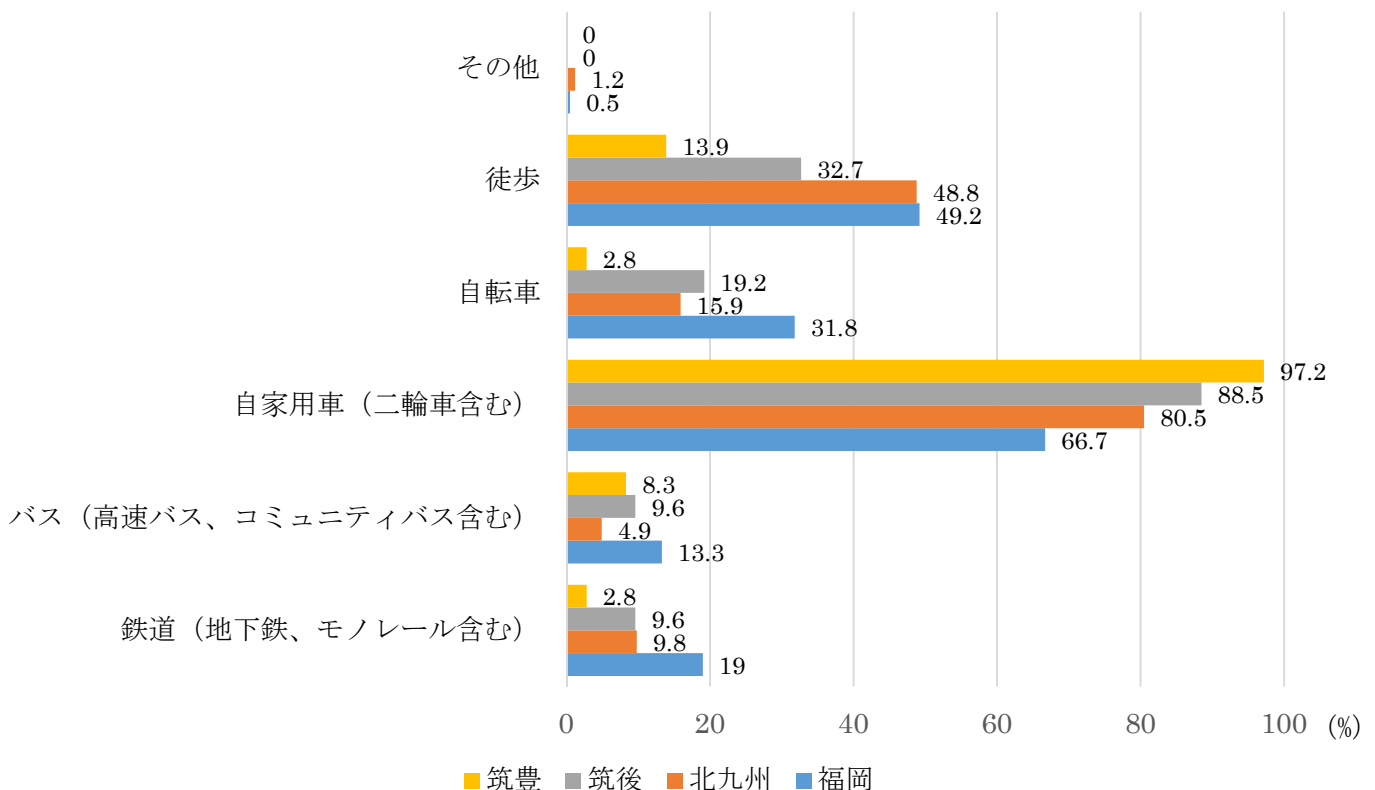
問6 現在、日常の買い物や通院等をする時に、どのような交通機関（移動手段）を利用していますか。

※全て選択

①全体（n=365）



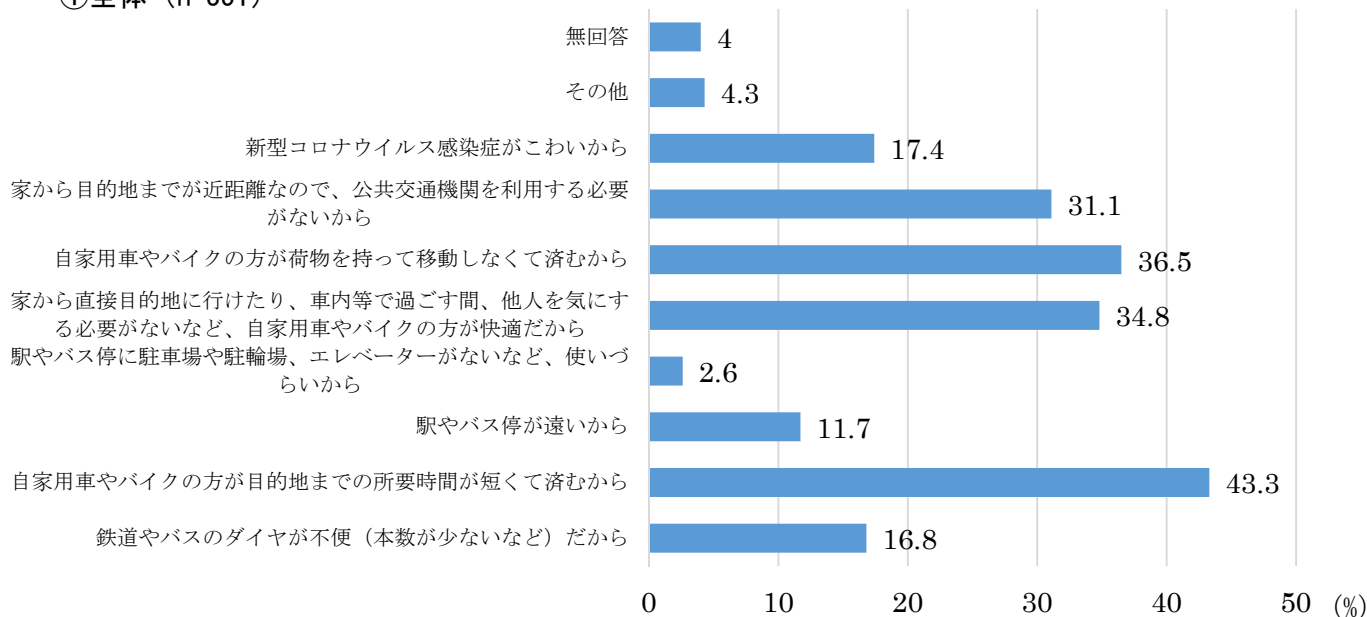
②地域別（n=北九州地域 82、福岡地域 195、筑後地域 52、筑豊地域 36）



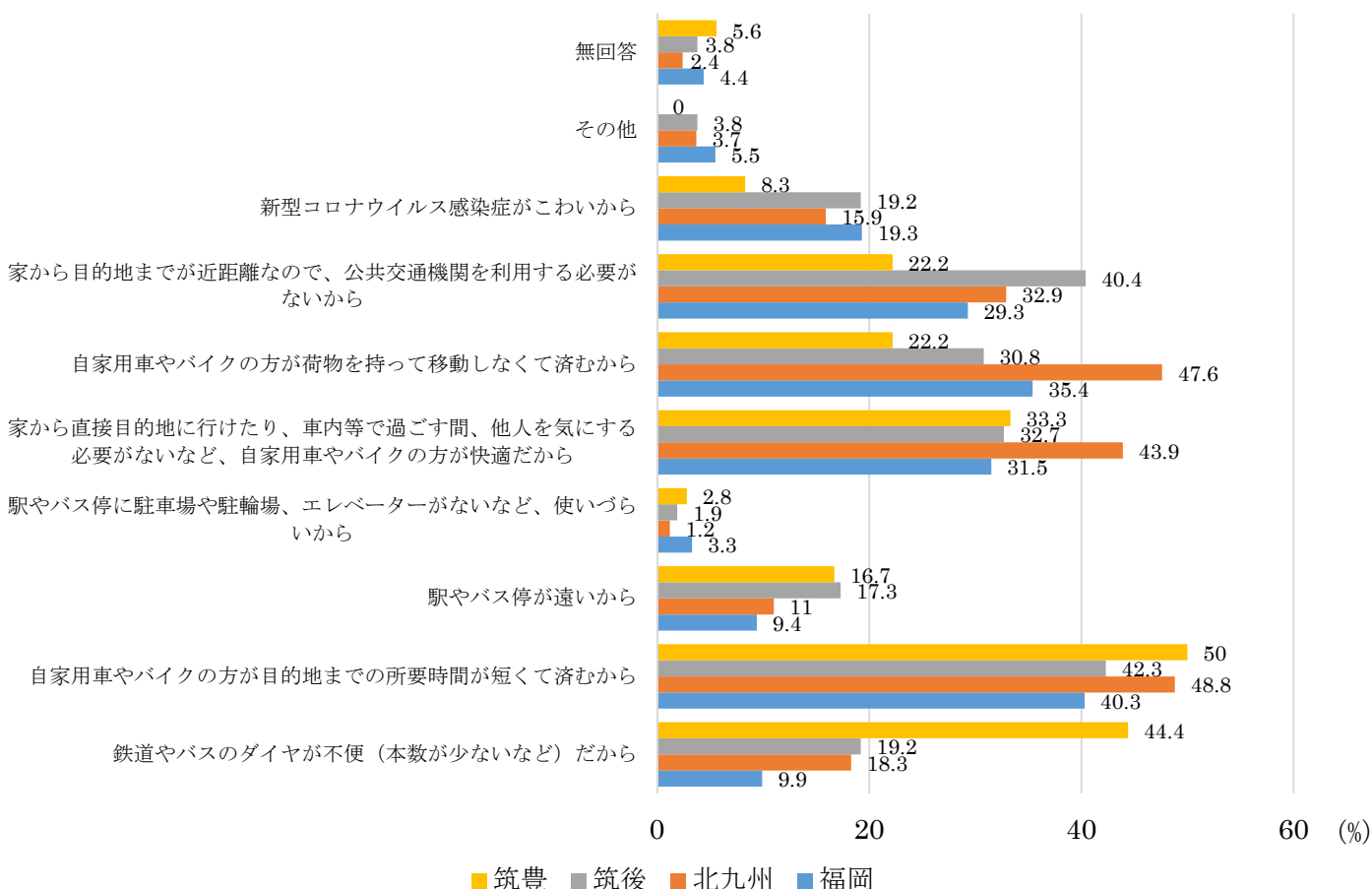
- 全体では、約8割の方が「自家用車（二輪車含む）」と回答し最も多く、次に、「徒歩」や「自転車」が続き、それぞれ約4割、約2割の方が回答。
- 一方で、「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」や「バス（高速バス、コミュニティバス含む）」は1割程度にとどまっている。
- 地域別では、筑豊地域、筑後地域及び北九州地域の「自家用車（二輪車含む）」利用が特に多く、8割以上の方が回答。
- 一方で、福岡地域は、他地域に比べ「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」や「バス（高速バス、コミュニティバス含む）」、「自転車」が多く利用されている。

問6-2 公共交通機関（鉄道やバス等）を利用しない理由はなんですか。（問6で「自家用車（二輪車含む）」「自転車」「徒歩」と回答した方）。※3つまで

①全体（n=351）



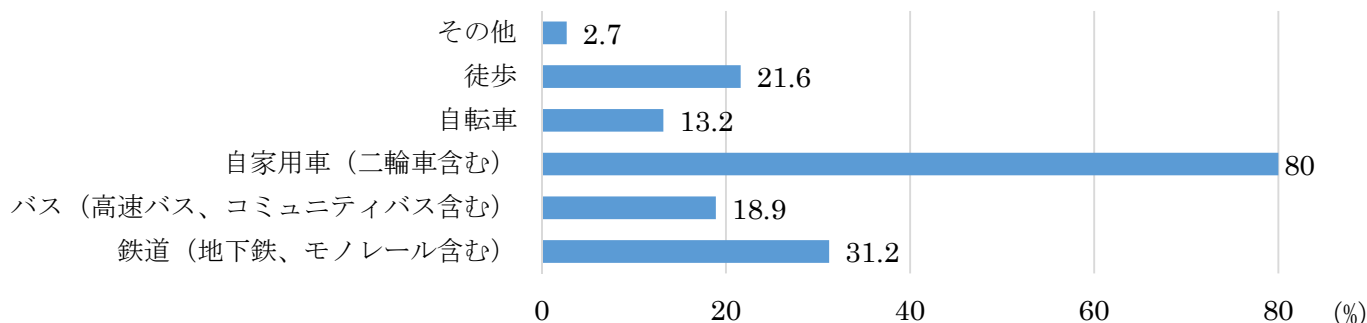
②地域別（n=北九州地域 82、福岡地域 181、筑後地域 52、筑豊地域 36）



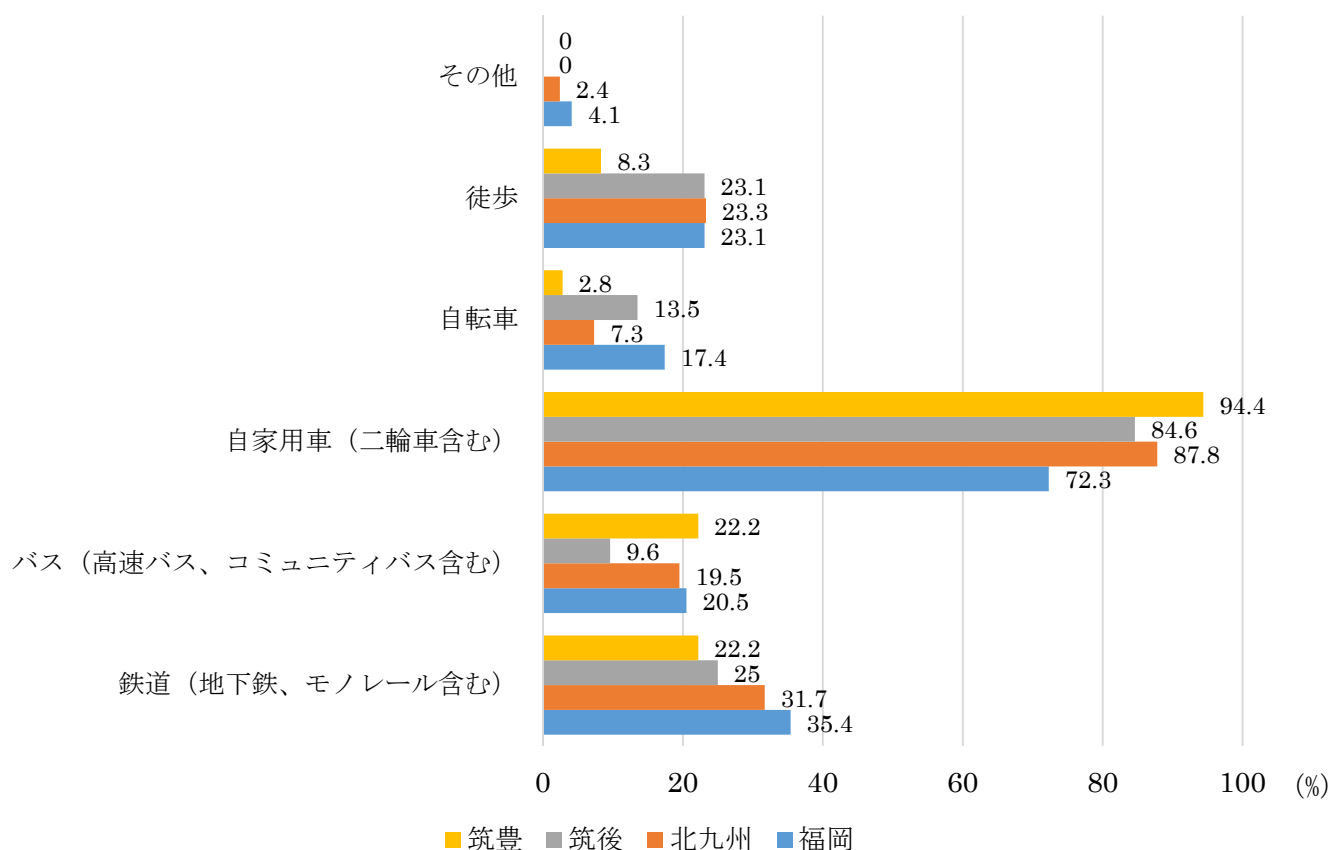
- 全体では、「自家用車やバイクの方が目的地までの所要時間が短くて済むから」や「自家用車やバイクの方が荷物を持って移動しなくて済むから」と回答した方が約4割、「家から直接目的地に行けたり、車内で過ごす間、他人を気にする必要がないなど、自家用車やバイクの方が快適だから」と回答した方が約3割となっている。
- 地域別では、筑豊地域が「鉄道やバスのダイヤが不便（本数が少ないなど）だから」と回答した方が約4割と、他地域に比べ高い傾向。

問7 現在、休日のレジャーや旅行等（余暇や自由に使える時間を使って行う娯楽や遊び）をする時に、どのような交通機関（移動手段）を利用していますか。※全て選択

①全体（n=365）



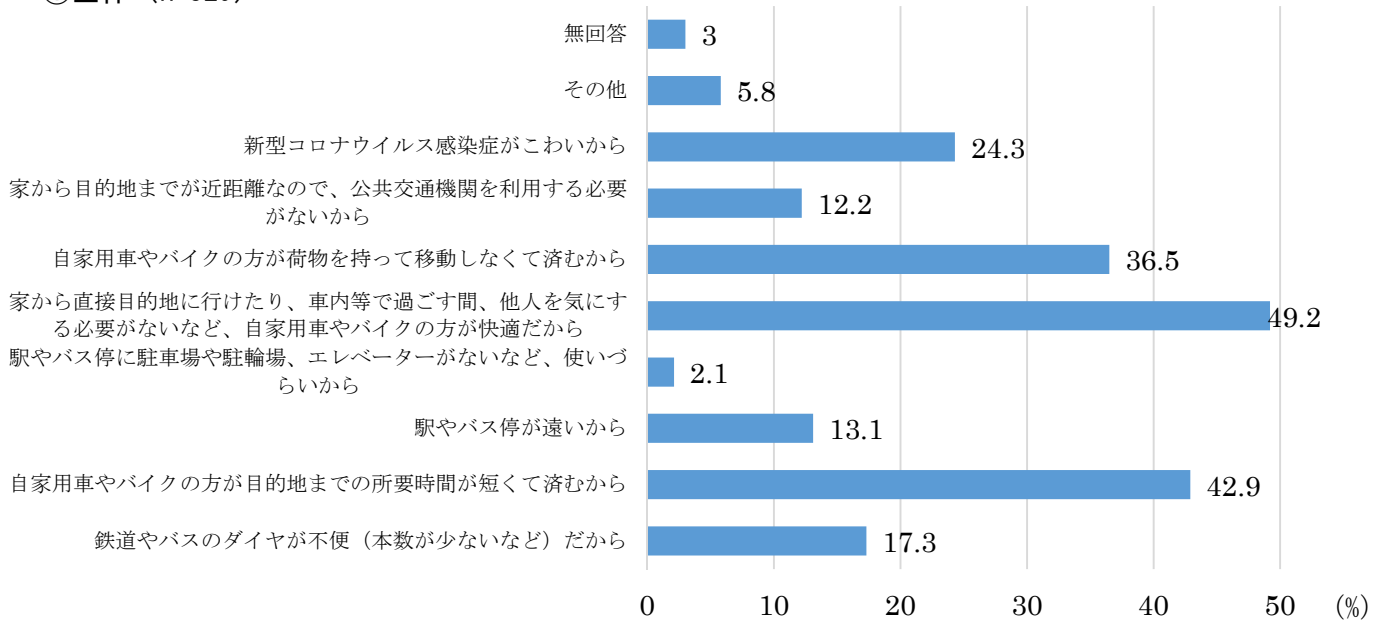
②地域別（n=北九州地域 82、福岡地域 195、筑後地域 52、筑豊地域 36）



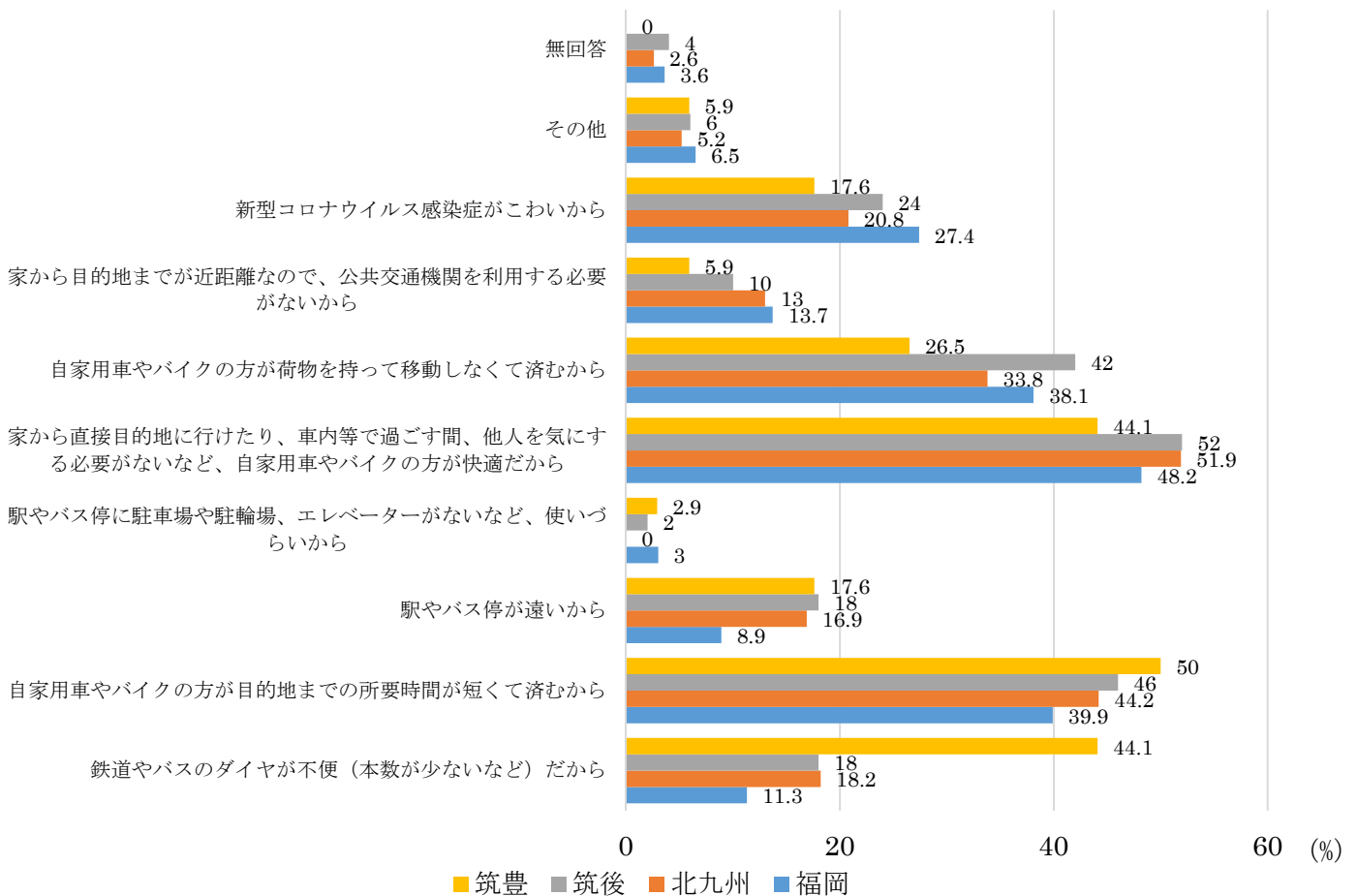
- 全体では、8割の方が「自家用車（二輪車含む）」と回答し最も多く、次に、「鉄道」や「徒歩」が続き、それぞれ約3割、約2割の方が回答。
- 地域別では、全ての地域で「自家用車（二輪車含む）」を利用している方が最も多く、特に筑豊地域では、9割を超える方が回答。
- 一方で、北九州地域や福岡地域では、他地域に比べ「鉄道（地下鉄、モノレール含む）」を利用している方が多い傾向。

問7-2 公共交通機関（鉄道やバス等）を利用しない理由はなんですか。（問7で「自家用車（二輪車含む）」「自転車」「徒歩」と回答した方）。※3つまで

①全体（n=329）



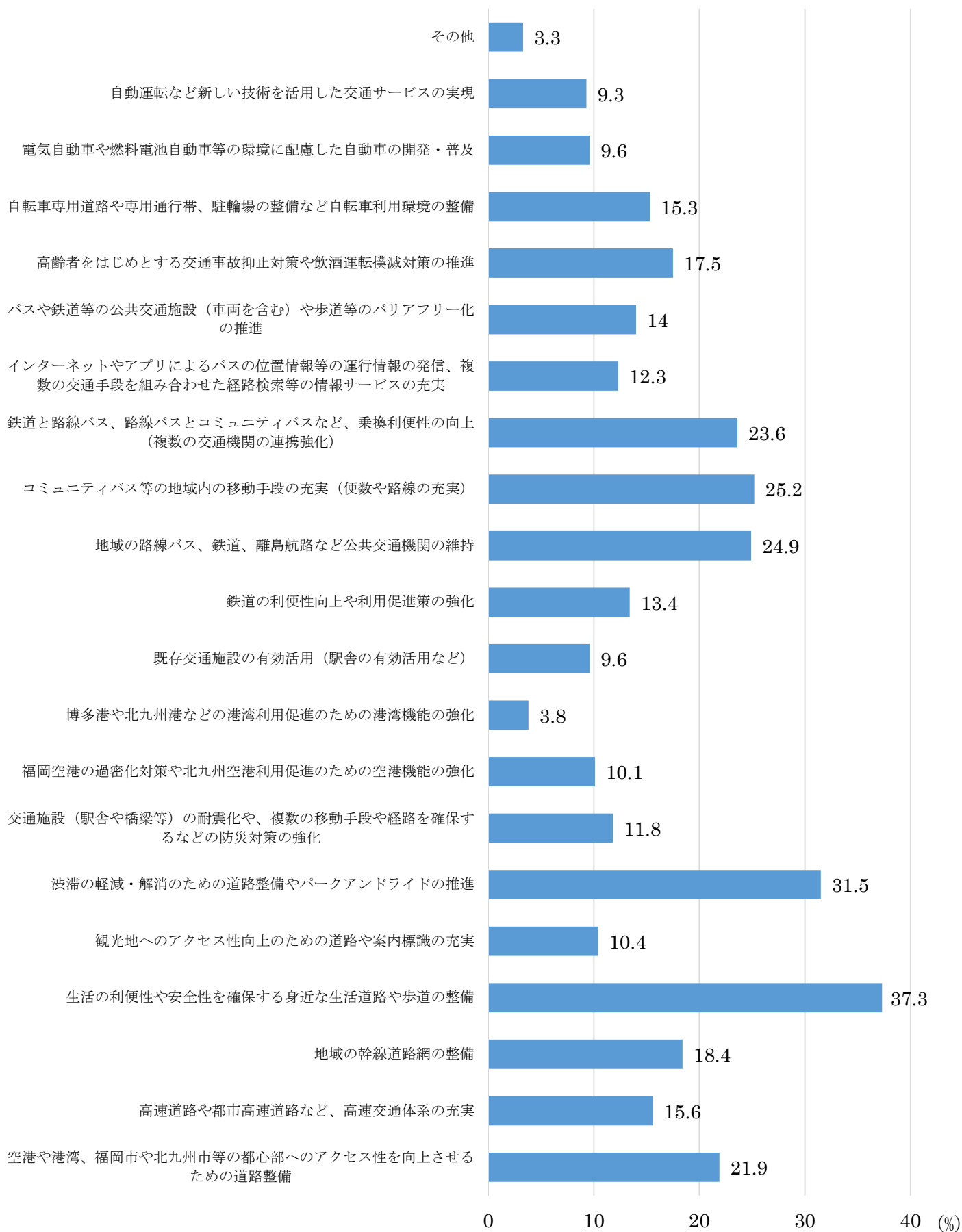
②地域別（n=北九州地域 77、福岡地域 168、筑後地域 50、筑豊地域 34）



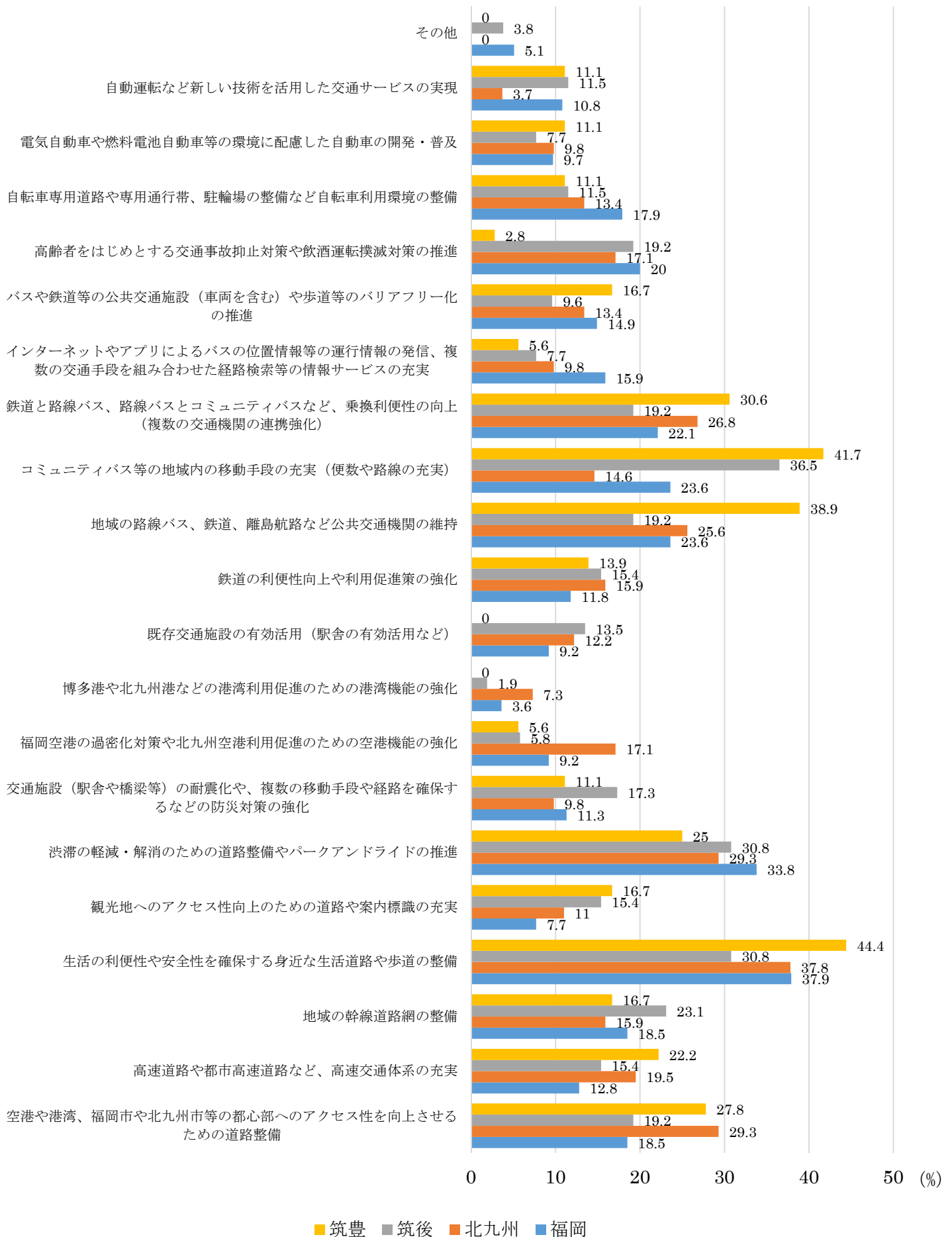
- 全体では、「家から直接目的地に行けたり、車内等で過ごす間、他人を気にする必要がないなど、自家用車やバイクの方が快適だから」と回答した方が約5割と最も多く、次に、「自家用車やバイクの方が目的地までの所要時間が短くて済むから」や「自家用車やバイクの方が荷物を持って移動しなくて済むから」と回答した方が、それぞれ約4割となっている。
- 地域別では、筑豊地域が「鉄道やバスのダイヤが不便（本数が少ないなど）だから」と回答した方が約4割と、他地域に比べ高い傾向。

問8 県は、今後どのような交通施策に取り組むことが必要と考えますか。※4つまで

①全体 (n=365)



②地域別 (n=北九州地域 82、福岡地域 195、筑後地域 52、筑豊地域 36)



- 全体では、「生活の利便性や安全性を確保する身近な生活道路や歩道の整備」が約4割と最も多く、「渋滞の軽減・解消のための道路整備やパークアンドライドの推進」及び「コミュニティバス等の地域内の移動手段の充実（便数や路線の充実）」が約3割、「地域の路線バス、鉄道、離島航路など公共交通機関の維持」、「鉄道と路線バス、路線バスとコミュニティバスなど、乗換利便性の向上（服すの交通機関の連携強化）」がそれぞれ約2割となっている。
- 地域別では、筑豊地方で、「コミュニティバス等の地域内の移動手段の充実（便数や路線の充実）」や「地域の路線バス、鉄道、離島航路など公共交通機関の維持」など、地域公共交通の維持・充実に関する回答の方が、他地域に比べ大きい傾向。